



第19回和歌山かがやき展

県内の特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒の作品を展示する「和歌山かがやき展」が、11月13日（土）～20日（土）の日程で、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛「大ホール、大ホールホワイエ」で開催されました。今回は、「紀の国和歌山文化祭2021」とタイアップして開催されました。



会場いっぱい、絵画や工作、書道など力作がそろい、華やかな雰囲気でした。本校からは、小学部、中学部、高等部の書道や工作、絵画を出品しました。どの作品も個性あふれる、魅力いっぱいの作品ばかりでした。



防災学習（小学部）



11月は、防災月間ということで、校内では様々な防災学習を行いました。11月11日（木）は、本校の学校運営協議会委員であり、防災士である幾島浩恵さんに小学部低ブロックで防災学習をしていただきました。動物のまねっこで命を守ろうということで、お猿のように机の下に入ったり、先生の合図で、チーターになって2階へ避難したりしました。また、どうしたらいいクイズでは、避難するときに気をつけることを教えてもらいました。最後は、幾島さんが持ってきてくれたテントですごく体験をしました。子どもたちは、熱心に話を聞き、楽しく防災を学ぶ機会となりました。

南紀支援学校での挨拶運動

9月15日に県内の支援学校の生徒総会がリモートでありました。そして、12校全ての生徒会では、「気持ちの良い挨拶を広げよう」「コロナで楽しい行事が減った。笑顔を取り戻そう」に取り組んでいくことになりました。はまゆう支援学校生徒会では、「あいさつ運動に笑顔を」「南紀支援学校にも笑顔を」「マスク越しの笑顔を」「褒め褒め表彰状で笑顔を」に取り組んでいます。11月17日（水）、本校の生徒会役員5名が、南紀支援学校に行って、あいさつ運動をしました。その前日には、南紀支援学校の生徒会役員3名が来校し、合同であいさつ運動をしてくれました。初めての取組で、少し緊張気味でしたが、元気よく笑顔であいさつをして交流を深めていました。

